

光触媒担持アルマイト放電電極を用いた有機ガス浄化装置の試作

企業 / 株式会社 アルキャット

研究者 / 亀山 秀雄 (東京農工大学 工学部 教授)



有機ガス浄化装置

本モデル化は、従来の燃焼式有機ガス分解技術ではなしえない室温での脱臭や有機ガス浄化が可能な有機ガス浄化装置を試作するもので、従来技術では熱の影響により導入が困難である病院・畜産・食品関係にも同装置の市場を切り開くことを目指すものである。

東京農工大学亀山秀雄教授により開発された「アルマイト放電基盤に光触媒を担持した電極」ならびに「アルマイト触媒」を使用して、各種有機排ガス（揮発性有機排ガス（VOC）、洗浄用有機塩素系溶剤排ガス、臭気性排ガスなど）を放電により室温でも酸化分解可能な有機ガス浄化装置を試作し、その評価を行った。その結果、分解率は当初目標である95%を達成したが、処理流量については今後への課題を残す結果となった。